

こうざんやき こんごうりきしぞう  
江山焼 金剛力士像

●所在地／湊町 大師堂 ●所有者／大師堂

<sup>みなとまち</sup>湊町の大師堂山門に安置されている一対の金剛力士像は、高さ98cmの彩色を施した手ひねりの江山焼である。昭和5年（1930）頃のもものと伝えられ、躍動感のある見事な工芸品である。

作者の<sup>まさしかぞう</sup>槇鹿蔵（江山）は、<sup>かみなだ</sup>上灘・<sup>なだまち</sup>灘町の出身で、明治の中頃から昭和にかけて郡中の<sup>くんちゅう</sup>殿町に住み、江山焼を興した。茶器・花器・人形などの<sup>らくやき</sup>楽焼系の作品が多く、素朴で風雅な趣があり人々に珍重された。鹿蔵は、<sup>あきやまよしふる</sup>秋山好古、<sup>とうごうへい</sup>東郷平八郎、<sup>はちろう</sup>久松勝成など政治家や高官に呼ばれて庭焼を行うなど中央でも活躍し、特に<sup>しもむらいざん</sup>下村為山とは親交が深かった。

郡中を代表する一代窯である。

